

北部圏域グループホーム情報シート

2024（令和6）年11月30日現在の情報

グループホーム名			あけぼのホーム									
			運営法人/事業所名		社会福祉法人名護学院 / ライフサポートひだまり							
定員			女性	0	名	男性	4	名	男女問わず	0	名	
基本情報	ホームの所在地		名護市宮里3丁目26-2									
	連絡先 TEL・FAX		TEL：	53-6036			FAX：					
	メールアドレス											
	ホームページ											
	開所日		365日開所 or 閉所日あり（⇒いつ閉所？）									
支援内容・設備等	主な対象者 (受け入れ可能に○)		知的障害	身体障害	重症心身障害	精神障害	発達障害					
			○	○		○	○					
			医療的ケアについて⇒ 支援可能 ・ 支援不可能 (支援可能な場合の支援内容：)									
	グループホーム運営において大切にしていること		ご利用者の意思を尊重し、相談しながら支援を致します。 安心・安全な環境の提供。 利用者が、理想としている暮らしや潤いのある暮らしが送れるよう、支援しております。									
	職員が得意な支援やどのようなタイプの人が住んでいるか等 (介護度や身の回りのことについて、どの程度支援が可能か記入してください) (ご本人やご家族が選ぶ時や、相談支援専門員が紹介するときに分かりやすいように書いてください)		何らかの障がいをお持ちの方が、世話人や生活支援員の支援を受けながら自立した生活を送るためのグループホームです。 共同生活援助とも呼びます。 日々の生活に不安を抱えている方が、共同生活を送り、様々な支援により、ご本人の理想とする生活を送り、安心安全な生活の提供を行っております。 入浴・排泄に関して、その方の必要なサポートを行っています。 家事に関しては、すべて職員が行うのではなく、利用者様がご自分でできる事はそのままに、手助けが必要な所をサポートしています。利用者様の自立の促しもしつつ、生活に過度の負担や不安が無いよう配慮して支援しております。									
	ホームのタイプ		○	介護サービス支援型(昼間は通所施設に通う)								
				日中サービス支援型(通うかホームで過ごすか選択可能)								
				外部サービス支援型								
			○	夜間支援体制 有り(時間帯など 21時～09時まで) ・ 無し								
	ショートステイ	有り		併設型(専用居室あり)								
無し		○	空床利用型(空き居室を利用)									
立地環境や建物 (あてはまるものに☑)		☑一戸建て □アパートタイプ □GHとして新たに建設 □静かな場所 □2階建て □3階建て ☑段差あり □バリアフリー □エレベーター有 〈この他建物の特徴：〉										
食事について (あてはまるものに☑)		☑ホーム内で調理 □外部委託 □その他()							刻み食等の対応 可能 or 要相談			
その他、入居にあたっての条件等があれば記入してください		ご家族との連絡調整が必要となりますので、必ずキーパーソンが必要。 医療機関への受診や、入院等はご家族のご協力が必要となります。										

利 用 料	利用料のめやす	合計金額	¥ 69,800	円程度	加えて個人の趣味・嗜好品や遊興費等が必要です	
		(内訳)	家賃	¥20,900	食費	¥24,000
			光熱水費	¥24,000	日用品費	
			オプション①	¥1,000 円	(生活費・お小遣い管理) 費用	
			オプション②	¥2,000 円	(障害年金等全額預) 費用	
			オプション③	円 ()	費用	
			その他	円 ()	(特別な支援に要する) 費用	
		※ご本人の収入によっては、国の制度により1万円の補助が出ます				
職員研修の実施状況 (あてはまるものに☑)	☒ 法人内研修の実施 ☒ 外部研修への参加 ☐ 自立支援協議会主催研修への参加					
	その他研修や、職員の育成で重視している事等	新採用者研修・階層別研修・感染症対策研修・腰痛予防研修 口腔ケア研修(基礎・実践)・精神障害の基礎知識(年2回)・救命救急講習会(乳児・成人)・強度行動障害研修 対人援助について、接遇について				
虐待防止の取り組み状況 (あてはまるものに☑)	☒ 法人内虐待防止研修の実施 ☒ 外部虐待防止研修への参加					
	虐待防止で重視している事等	風通しの良い環境づくり(相談できる環境) 防止する為の事業所としての取組(学びの場の準備) 発生時、通報する事の大切さ。また、発生した後の対応				
見学・体験の受け入れについて	随時受け入れしております。					
自由記載(課題など)						

※直近の情報については、直接、事業所へお問い合わせください。

北部圏域グループホーム情報シート

2024（令和6）年11月30日現在の情報

グループホーム名			かりゆしホーム								
			運営法人/事業所名		社会福祉法人名護学院 ライフサポートひだまり						
定員			女性		名	男性	5	名	男女問わず	名	
基本情報	ホームの所在地		名護市内大西5丁目15-4								
	連絡先 TEL・FAX		TEL：	54-5844			FAX：				
	メールアドレス										
	ホームページ										
	開所日		365日開所 or 閉所日あり（⇒いつ閉所？）								
支援内容・設備等	主な対象者 （受け入れ可能に○）		知的障害		身体障害		重症心身障害		精神障害		
			○		○				○		
			医療的ケアについて⇒ 支援可能 ・ 支援不可能 （支援可能な場合の支援内容：）								
	グループホーム運営において大切にしていること		ご利用者様の意思を尊重し、相談しながら支援を致します。 安心・安全な環境の提供。 利用者様が、理想としている暮らしや潤いのある暮らしが送れるよう、支援しております。								
	職員が得意な支援やどのようなタイプの人たちが住んでいるか等 （介護度や身の回りのことについて、どの程度支援が可能か記入してください） （ご本人やご家族が選ぶ時や、相談支援専門員が紹介するときに分かりやすいように書いてください）		何らかの障がいをお持ちの方が、世話人や生活支援員の支援を受けながら自立した生活を送るためのグループホームです。 共同生活援助とも呼びます。 日々の生活に不安を抱いている方が、共同生活を送り、様々な支援により、ご本人の理想とする生活を送り、安心安全な生活の提供を行っております。 入浴・排泄に関して、その方の必要なサポートを行っています。 家事に関しては、すべて職員が行うのではなく、利用者様がご自分でできる事はそのままに、手助けが必要な所をサポートしています。利用者様の自立の促しもしつつ、生活に過度の負担や不安が無いよう配慮して支援しております。								
	ホームのタイプ		○		介護サービス支援型（昼間は通所施設に通う）						
					日中サービス支援型（通うかホームで過ごすか選択可能）						
					外部サービス支援型						
			○		夜間支援体制 有り（時間帯など 21時～09時まで） ・ 無し						
	ショートステイ	有り		併設型（専用居室あり）							
	無し	○	空床利用型（空き居室を利用）								
立地環境や建物 （あてはまるものに☑）			☑一戸建て □アパートタイプ □GHとして新たに建設 □静かな場所 □2階建て □3階建て ☑段差あり □バリアフリー □エレベーター有 〈その他建物の特徴：〉								
食事について （あてはまるものに☑）			☑ホーム内で調理 □外部委託 □その他（ ）							刻み食等の対応 可能 or 要相談	
その他、入居にあたっての条件等があれば記入してください			ご家族との連絡調整が必要となりますので、必ずキーパーソンが必要。 医療機関への受診や、入院等はご家族のご協力が必要となります。								

利 用 料	利用料のめやす	合計金額	¥ 69,800	円程度	加えて個人の趣味・嗜好品や遊興費等が必要です	
		(内訳)	家賃	¥20,900	食費	¥24,000
			光熱水費	¥24,000	日用品費	
			オプション①	¥1,000	円	(生活費・お小遣い管理) 費用
			オプション②	¥2,000	円	(障害年金等全額預) 費用
			オプション③		円	() 費用
			その他		円	(特別な支援に要する) 費用
		※ご本人の収入によっては、国の制度により1万円の補助が出ます				
職員研修の実施状況 (あてはまるものに☑)	☒ 法人内研修の実施 ☒ 外部研修への参加 ☐ 自立支援協議会主催研修への参加					
	その他研修や、職員の育成で重視している事等	新採用者研修・階層別研修・感染症対策研修・腰痛予防研修 口腔ケア研修(基礎・実践)・精神障害の基礎知識(年2回)・救命救急講習会(乳児・成人)・強度行動障害研修 対人援助について、接遇について				
虐待防止の取り組み状況 (あてはまるものに☑)	☒ 法人内虐待防止研修の実施 ☒ 外部虐待防止研修への参加					
	虐待防止で重視している事等	風通しの良い環境づくり(相談できる環境) 防止する為の事業所としての取組(学びの場の準備) 発生時、通報する事の大切さ。また、発生した後の対応				
見学・体験の受け入れについて	随時受け入れしております。					
自由記載(課題など)						

※直近の情報については、直接、事業所へお問い合わせください。

北部圏域グループホーム情報シート

2024（令和6）年11月30日現在の情報

グループホーム名			なでしこホーム							
			運営法人/事業所名		社会福祉法人名護学院 ライフサポートひだまり					
定員			女性	4	名	男性		名	男女問わず	名
基本情報	ホームの所在地		名護市我部祖河355							
	連絡先 TEL・FAX		TEL：	52-6432			FAX：			
	メールアドレス									
	ホームページ									
	開所日		365日開所 or 閉所日あり（⇒いつ閉所？）							
支援内容・設備等	主な対象者 (受け入れ可能に○)		知的障害	身体障害	重症心身障害	精神障害	発達障害			
			○	○		○	○			
			医療的ケアについて⇒ 支援可能 ・ 支援不可能 (支援可能な場合の支援内容：)							
	グループホーム運営において大切にしていること		ご利用者様の意思を尊重し、相談しながら支援を致します。 安心・安全な環境の提供。 利用者様が、理想としている暮らしや潤いのある暮らしが送れるよう、支援しております。							
	職員が得意な支援やどのようなタイプの人たちが住んでいるか等 (介護度や身の回りのことについて、どの程度支援が可能か記入してください) (ご本人やご家族が選ぶ時や、相談支援専門員が紹介するときに分かりやすいように書いてください)		何らかの障がいをお持ちの方が、世話人や生活支援員の支援を受けながら自立した生活を送るためのグループホームです。 共同生活援助とも呼びます。 日々の生活に不安を抱いている方が、共同生活を送り、様々な支援により、ご本人の理想とする生活を送り、安心安全な生活の提供を行っております。 入浴・排泄に関して、その方の必要なサポートを行っています。 家事に関しては、すべて職員が行うのではなく、利用者様がご自分でできる事はそのままに、手助けが必要な所をサポートしています。利用者様の自立の促しもしつつ、生活に過度の負担や不安が無いよう配慮して支援しております。							
	ホームのタイプ		○	介護サービス支援型 (昼間は通所施設に通う)						
				日中サービス支援型 (通うかホームで過ごすか選択可能)						
				外部サービス支援型						
			○	夜間支援体制 有り (時間帯など 21時～09時まで) ・ 無し						
ショートステイ	有り		併設型 (専用居室あり)							
	無し	○	空床利用型 (空き居室を利用)							
立地環境や建物 (あてはまるものに☑)			☒ 一戸建て ☐ アパートタイプ ☐ GHとして新たに建設 ☐ 静かな場所 ☐ 2階建て ☐ 3階建て ☒ 段差あり ☐ バリアフリー ☐ エレベーター有 〈その他建物の特徴：〉							
食事について (あてはまるものに☑)			☒ ホーム内で調理 ☐ 外部委託 ☐ その他 ()						刻み食等の対応 可能 or 要相談	
その他、入居にあたっての条件等があれば記入してください			ご家族との連絡調整が必要となりますので、必ずキーパーソンが必要。 医療機関への受診や、入院等はご家族のご協力が必要となります。							

利 用 料	利用料のめやす	合計金額	¥ 69,800	円程度	加えて個人の趣味・嗜好品や遊興費等が必要です	
		(内訳)	家賃	¥20,900	食費	¥24,000
			光熱水費	¥24,000	日用品費	
			オプション①	¥1,000	円	(生活費・お小遣い管理) 費用
			オプション②	¥2,000	円	(障害年金等全額預) 費用
			オプション③		円	() 費用
			その他		円	(特別な支援に要する) 費用
		※ご本人の収入によっては、国の制度により1万円の補助が出ます				
職員研修の実施状況 (あてはまるものに☑)	☒ 法人内研修の実施 ☒ 外部研修への参加 ☐ 自立支援協議会主催研修への参加					
	その他研修や、職員の育成で重視している事等	新採用者研修・階層別研修・感染症対策研修・腰痛予防研修 口腔ケア研修(基礎・実践)・精神障害の基礎知識(年2回)・救命救急講習会(乳児・成人)・強度行動障害研修 対人援助について、接遇について				
虐待防止の取り組み状況 (あてはまるものに☑)	☒ 法人内虐待防止研修の実施 ☒ 外部虐待防止研修への参加					
	虐待防止で重視している事等	風通しの良い環境づくり(相談できる環境) 防止する為の事業所としての取組(学びの場の準備) 発生時、通報する事の大切さ。また、発生した後の対応				
見学・体験の受け入れについて	随時受け入れしております。					
自由記載(課題など)						

※直近の情報については、直接、事業所へお問い合わせください。

北部圏域グループホーム情報シート

2024（令和6）年11月30日現在の情報

グループホーム名			はるかホーム							
			運営法人/事業所名		社会福祉法人名護学院 ライフサポートひだまり					
定員			女性	4	名	男性		名	男女問わず	名
基本情報	ホームの所在地		名護市宇茂佐の森773-1 119号							
	連絡先 TEL・FAX		TEL：	0980-43-5888			FAX：			
	メールアドレス									
	ホームページ									
	開所日		365日開所 or 閉所日あり（⇒いつ閉所？）							
支援内容・設備等	主な対象者 （受け入れ可能に○）		知的障害	身体障害	重症心身障害	精神障害	発達障害			
			○	○		○	○			
			医療的ケアについて⇒ 支援可能 ・ 支援不可能 （支援可能な場合の支援内容：）							
	グループホーム運営において大切にしていること		ご利用者様の意思を尊重し、相談しながら支援を致します。 安心・安全な環境の提供。 利用者様が、理想としている暮らしや潤いのある暮らしが送れるよう、支援しております。							
	職員が得意な支援やどのようなタイプの人たちが住んでいるか等 （介護度や身の回りのことについて、どの程度支援が可能か記入してください） （ご本人やご家族が選ぶ時や、相談支援専門員が紹介するときに分かりやすいように書いてください）		何らかの障がいをお持ちの方が、世話人や生活支援員の支援を受けながら自立した生活を送るためのグループホームです。共同生活援助とも呼びます。 日々の生活に不安を抱いている方が、共同生活を送り、様々な支援により、ご本人の理想とする生活を送り、安心安全な生活の提供を行っております。 入浴・排泄に関して、その方の必要なサポートを行っています。 家事に関しては、すべて職員が行うのではなく、利用者様がご自分でできる事はそのままに、手助けが必要な所をサポートしています。利用者様の自立の促しもしつつ、生活に過度の負担や不安が無いよう配慮して支援しております。							
	ホームのタイプ		○	介護サービス支援型（昼間は通所施設に通う）						
				日中サービス支援型（通うかホームで過ごすか選択可能）						
				外部サービス支援型						
ショートステイ	有り	○	夜間支援体制 有り（時間帯など 21時～09時まで） ・ 無し							
	無し	○	併設型（専用居室あり） 空床利用型（空き居室を利用）							
立地環境や建物 （あてはまるものに☑）			☐ 一戸建て ☐ アパートタイプ ☐ GHとして新たに建設 ☒ 静かな場所 ☐ 2階建て ☐ 3階建て ☐ 段差あり ☒ バリアフリー ☐ エレベーター有 〈この他建物の特徴： 市営住宅〉							
食事について （あてはまるものに☑）			☒ ホーム内で調理 ☐ 外部委託 ☐ その他（ ）						刻み食等の対応 可能 or 要相談	
その他、入居にあたっての条件等があれば記入してください			ご家族との連絡調整が必要となりますので、必ずキーパーソンが必要。 医療機関への受診や、入院等はご家族のご協力が必要となります。							

利 用 料	利用料のめやす	合計金額	¥ 69,800	円程度	加えて個人の趣味・嗜好品や遊興費等が必要です		
		(内訳)	家賃	¥20,900	食費	¥24,000	
			光熱水費	¥24,000	日用品費		
			オプション①	¥1,000	円	(生活費・お小遣い管理) 費用	
			オプション②	¥2,000	円	(障害年金等全額預) 費用	
			オプション③		円	() 費用	
			その他		円	(特別な支援に要する) 費用	
	※ご本人の収入によっては、国の制度により1万円の補助が出ます						
職員研修の実施状況 (あてはまるものに☑)		☒ 法人内研修の実施 ☒ 外部研修への参加 ☐ 自立支援協議会主催研修への参加					
		その他研修や、職員の育成で重視している事等	新採用者研修・階層別研修・感染症対策研修・腰痛予防研修 ケア研修(基礎・実践)・精神障害の基礎知識(年2回)・救命救急講習会(乳児・成人)・強度行動障害研修 対人援助について、接遇について				
虐待防止の取り組み状況 (あてはまるものに☑)		☒ 法人内虐待防止研修の実施 ☒ 外部虐待防止研修への参加					
		虐待防止で重視している事等	風通しの良い環境づくり(相談できる環境) 防止する為の事業所としての取組(学びの場の準備) 発生時、通報する事の大切さ。また、発生した後の対応				
見学・体験の受け入れについて		随時受入れしております。					
自由記載(課題など)							

※直近の情報については、直接、事業所へお問い合わせください。

北部圏域グループホーム情報シート

2024（令和6）年11月30日現在の情報

グループホーム名			うんさホーム							
			運営法人/事業所名		社会福祉法人名護学院 ライフサポートひだまり					
定員			女性		名	男性	4	名	男女問わず	名
基本情報	ホームの所在地		名護市宇茂佐の森773-1 120号							
	連絡先 TEL・FAX		TEL：	54-5135			FAX：			
	メールアドレス									
	ホームページ									
	開所日		365日開所 or 閉所日あり（⇒いつ閉所？）							
支援内容・設備等	主な対象者 (受け入れ可能に○)		知的障害	身体障害	重症心身障害	精神障害	発達障害			
			○	○		○	○			
			医療的ケアについて⇒ 支援可能 ・ 支援不可能 (支援可能な場合の支援内容：)							
	グループホーム運営において大切にしていること		ご利用者様の意思を尊重し、相談しながら支援を致します。 安心・安全な環境の提供。 利用者様が、理想としている暮らしや潤いのある暮らしが送れるよう、支援しております。							
	職員が得意な支援やどのようなタイプの人たちが住んでいるか等 (介護度や身の回りのことについて、どの程度支援が可能か記入してください) (ご本人やご家族が選ぶ時や、相談支援専門員が紹介するときに分かりやすいように書いてください)		何らかの障がいをお持ちの方が、世話人や生活支援員の支援を受けながら自立した生活を送るためのグループホームです。 共同生活援助とも呼びます。 日々の生活に不安を抱いている方が、共同生活を送り、様々な支援により、ご本人の理想とする生活を送り、安心安全な生活の提供を行っております。 入浴・排泄に関して、その方の必要なサポートを行っています。 家事に関しては、すべて職員が行うのではなく、利用者様がご自分でできる事はそのままに、手助けが必要な所をサポートしています。利用者様の自立の促しもしつつ、生活に過度の負担や不安が無いよう配慮して支援しております。							
	ホームのタイプ		○	介護サービス支援型 (昼間は通所施設に通う)						
				日中サービス支援型 (通うかホームで過ごすか選択可能)						
				外部サービス支援型						
			○	夜間支援体制 有り (時間帯など 21時～09時まで) ・ 無し						
ショートステイ	有り		併設型 (専用居室あり)							
	無し	○	空床利用型 (空き居室を利用)							
立地環境や建物 (あてはまるものに☑)			☐ 一戸建て ☐ アパートタイプ ☐ GHとして新たに建設 ☐ 静かな場所 ☐ 2階建て ☐ 3階建て ☐ 段差あり ☒ バリアフリー ☐ エレベーター有 〈その他建物の特徴：市営住宅〉							
食事について (あてはまるものに☑)			☐ ホーム内で調理 ☒ 外部委託 ☐ その他 ()						刻み食等の対応 可能 or 要相談	
その他、入居にあたっての条件等があれば記入してください			ご家族との連絡調整が必要となりますので、必ずキーパーソンが必要。 医療機関への受診や、入院等はご家族のご協力が必要となります。							

利 用 料	利用料のめやす	合計金額	¥ 69,800	円程度	加えて個人の趣味・嗜好品や遊興費等が必要です		
		(内訳)	家賃	¥20,900	食費	¥24,000	
			光熱水費	¥24,000	日用品費		
			オプション①	¥1,000	円	(生活費・お小遣い管理) 費用	
			オプション②	¥2,000	円	(障害年金等全額預) 費用	
			オプション③		円	() 費用	
			その他		円	(特別な支援に要する) 費用	
		※ご本人の収入によっては、国の制度により1万円の補助が出ます					
職員研修の実施状況 (あてはまるものに☑)	☒ 法人内研修の実施 ☒ 外部研修への参加 ☐ 自立支援協議会主催研修への参加						
	その他研修や、職員の育成で重視している事等	新採用者研修・階層別研修・感染症対策研修・腰痛予防研修 ☐ 口腔ケア研修(基礎・実践)・精神障害の基礎知識(年2回)・救命救急講習会(乳児・成人)・強度行動障害研修 対人援助について、接遇について					
虐待防止の取り組み状況 (あてはまるものに☑)	☒ 法人内虐待防止研修の実施 ☒ 外部虐待防止研修への参加						
	虐待防止で重視している事等	風通しの良い環境づくり(相談できる環境) 防止する為の事業所としての取組(学びの場の準備) 発生時、通報する事の大切さ。また、発生した後の対応					
見学・体験の受け入れについて	随時受け入れしております。						
自由記載(課題など)							

※直近の情報については、直接、事業所へお問い合わせください。

北部圏域グループホーム情報シート

2024（令和6）年11月30日現在の情報

グループホーム名			ゆがふ、ホーム							
			運営法人/事業所名		社会福祉法人名護学院 ライフサポートひだまり					
定員			女性		名	男性	4	名	男女問わず	名
基本情報	ホームの所在地		名護市為又492-79							
	連絡先 TEL・FAX		TEL：	54-5135			FAX：			
	メールアドレス									
	ホームページ									
	開所日		365日開所 or 閉所日あり（⇒いつ閉所？）							
支援内容・設備等	主な対象者 (受け入れ可能に○)		知的障害	身体障害		重症心身障害		精神障害	発達障害	
			○	○			○	○		
			医療的ケアについて⇒ 支援可能 ・ 支援不可能 (支援可能な場合の支援内容：)							
	グループホーム運営において大切にしていること		ご利用者様の意思を尊重し、相談しながら支援を致します。 安心・安全な環境の提供。 利用者様が、理想としている暮らしや潤いのある暮らしが送れるよう、支援しております。							
	職員が得意な支援やどのようなタイプの人たちが住んでいるか等 (介護度や身の回りのことについて、どの程度支援が可能か記入してください) (ご本人やご家族が選ぶ時や、相談支援専門員が紹介するときに分かりやすいように書いてください)		何らかの障がいをお持ちの方が、世話人や生活支援員の支援を受けながら自立した生活を送るためのグループホームです。 共同生活援助とも呼びます。 日々の生活に不安を抱いている方が、共同生活を送り、様々な支援により、ご本人の理想とする生活を送り、安心安全な生活の提供を行っております。 入浴・排泄に関して、その方の必要なサポートを行っています。 家事に関しては、すべて職員が行うのではなく、利用者様がご自分でできる事はそのままに、手助けが必要な所をサポートしています。利用者様の自立の促しもしつつ、生活に過度の負担や不安が無いよう配慮して支援しております。							
	ホームのタイプ		○	介護サービス支援型(昼間は通所施設に通う)						
				日中サービス支援型(通うかホームで過ごすか選択可能)						
				外部サービス支援型						
			○	夜間支援体制 有り(時間帯など 21時～09時まで) ・ 無し						
	ショートステイ	有り		併設型(専用居室あり)						
	無し	○	空床利用型(空き居室を利用)							
立地環境や建物 (あてはまるものに☑)			☑一戸建て ☐アパートタイプ ☐GHとして新たに建設 ☑静かな場所 ☐2階建て ☐3階建て ☑段差あり ☐バリアフリー ☐エレベーター有 〈その他建物の特徴：〉							
食事について (あてはまるものに☑)			☑ホーム内で調理 ☐外部委託 ☐その他()							
			刻み食等の対応 可能 or 要相談							
その他、入居にあたっての条件等があれば記入してください			ご家族との連絡調整が必要となりますので、必ずキーパーソンが必要。 医療機関への受診や、入院等はご家族のご協力が必要となります。							

利 用 料	利用料のめやす	合計金額	¥ 69,800	円程度	加えて個人の趣味・嗜好品や遊興費等が必要です		
		(内訳)	家賃	¥20,900	食費	¥24,000	
			光熱水費	¥24,000	日用品費		
			オプション①	¥1,000	円	(生活費・お小遣い管理) 費用	
			オプション②	¥2,000	円	(障害年金等全額預) 費用	
			オプション③		円	() 費用	
			その他		円	(特別な支援に要する) 費用	
		※ご本人の収入によっては、国の制度により1万円の補助が出ます					
職員研修の実施状況 (あてはまるものに☑)	☒ 法人内研修の実施 ☒ 外部研修への参加 ☐ 自立支援協議会主催研修への参加						
	その他研修や、職員の育成で重視している事等	新採用者研修・階層別研修・感染症対策研修・腰痛予防研修 ☐ 口腔ケア研修(基礎・実践)・精神障害の基礎知識(年2回)・救命救急講習会(乳児・成人)・強度行動障害研修 対人援助について、接遇について					
虐待防止の取り組み状況 (あてはまるものに☑)	☒ 法人内虐待防止研修の実施 ☒ 外部虐待防止研修への参加						
	虐待防止で重視している事等	風通しの良い環境づくり(相談できる環境) 防止する為の事業所としての取組(学びの場の準備) 発生時、通報する事の大切さ。また、発生した後の対応					
見学・体験の受け入れについて	随時受入れしております。						
自由記載(課題など)							

※直近の情報については、直接、事業所へお問い合わせください。